

令和4年度 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 事業検証シート

交付対象事業

地域の歴史文化資源を活用したインバウンド推進事業

事業検証

事業内訳	当初計画事業費(円)	確定事業費(円)	交付金(円)
流鏝馬再現事業	3,000,000	3,000,000	1,500,000
計	3,000,000	3,000,000	1,500,000

事業名	担当課
流鏝馬再現事業	地域産業推進課

事業評価	進捗状況
	11月27日に令和四年奈良田原本流鏝馬まつりを実施。
事業効果	3年ぶりの開催であり、13,000人ももの来場者があった(主催者発表)。また、町商工会の協力で十六市を同時開催し、来場者に向けて町産業をPRすることができた。

R5年度以降の方向性
実行委員会と連携し、適切な時期での実施を図る。

KPI検証

KPI		事業開始前	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
流鏝馬・能フォーラムにおける外国人観光客数(人)	目標値	-	220	250	260	310
	実績値	0	141	0	1	7
唐古・鍵遺跡史跡公園年間来場者数(人)	目標値	-	68,000	71,000	74,000	77,000
	実績値	65,000	116,134	69,342	98,621	167,942
唐古・鍵考古学ミュージアム年間来場者数(人)	目標値	-	14,000	15,000	16,000	17,000
	実績値	13,000	13,278	5,741	5,803	7,909

KPI	流鏝馬・能フォーラムにおける外国人観光客数(人)	担当課	地域産業推進課
評価	新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限下での開催のため、来場された外国人はごくわずかであった。		
R5年度以降の方向性	今後増加が見込まれる訪日外国人を来場に繋げるため、情報発信などの手法について研究していく。		

KPI	唐古・鍵遺跡史跡公園年間来場者数(人)	担当課	文化財保存課
評価	令和5年度からの第2期指定管理者の選定が完了し、道の駅レスティ唐古・鍵と一体運営することになった。また、イベントや学校の校外学習などを積極的に誘致し、目標を大きく上回る来園者数となった。		
R5年度以降の方向性	道の駅レスティ唐古・鍵との一体運営により、中南和地域の観光の玄関口にある史跡公園として、歴史をテーマとしたイベントをはじめとして多彩なイベントが開催されるように努める。		

KPI	唐古・鍵考古学ミュージアム年間来場者数(人)	担当課	文化財保存課
評価	新型コロナウイルス感染拡大に伴う規制も徐々に緩和され、来館者数は前年度比約2,000人増となった。		
R5年度以降の方向性	ワークショップ・企画展等を充実させるとともに、唐古・鍵バーチャルミュージアムをはじめとしたWeb媒体や紙媒体での積極的な情報発信を行うことで、来館者増を図る。		

令和4年度 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 事業検証シート

交付対象事業

地域価値を高める支援を行う持続可能な組織設立プロジェクト

事業検証

事業内訳	当初計画事業費(円)	確定事業費(円)	交付金(円)
新組織補助金	22,629,000	15,952,374	7,976,187
新組織への委託費	6,382,000	6,382,000	3,191,000
計	29,011,000	22,334,374	11,167,187

事業名	新組織補助金	担当課	地域産業推進課
事業評価	進捗状況	人件費及び経営コンサルタント等による経営支援に係る経費の補助を実施。	
	事業効果	固定費の一部を補助することによって経営を安定化し、EC販売などの自主事業やイベント等の公益性の高い事業の実施を後押しできた。	
R5年度以降の方向性		補助金から業務委託への転換を図り、組織の自立経営を促進する。	

事業名	新組織への委託費	担当課	地域産業推進課
事業評価	進捗状況	イベント開催や情報発信などのPR業務及び観光ステーションの運営業務を委託業務として実施。	
	事業効果	民間事業者の強みを活かした情報発信により、効果的なPRをすることができた。	
R5年度以降の方向性		引き続き、観光客の増加や地域活性化に取り組んでいく。	

KPI検証

KPI		事業開始前	2020年度	2021年度	2022年度
新組織によりブランディング化した製品数(個)	目標値	-	0	1	2
	実績値	0	0	1	1
観光客数(観光ステーション来場者)(人)	目標値	-	4,999	5,499	5,999
	実績値	4,799	2,246	2,189	3,152
新組織が設置するウェブサイト年間アクセス数(PV)	目標値	-	600	900	1,200
	実績値	0	48,122	101,391	113,742

KPI	新組織によりブランディング化した製品数(個)	担当課	地域産業推進課
評価	県内市町村との連携によるサイクルイベント期間中に、奈良市観光センター内のカフェ「CAFÉ ENTRANGER NARAD」の協力により、町内産ヒノヒカリ及びその米粉を使ったメニューを提供。イベント参加者の他、奈良市を訪れた観光客に向けたPRができた。		
R5年度以降の方向性	引き続き、商品開発やPRに取り組んでいく。		

KPI	観光客数(観光ステーション来場者)(人)	担当課	地域産業推進課
評価	新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が段階的に緩和されたことに加え、地域製品の販売拡充やレンタサイクルのなど利便性向上などの取組が来場者数の増につながったものとする。		
R5年度以降の方向性	観光ステーションが来訪者のタッチポイントとして多くの方に立ち寄りいただくことができるよう、サービス向上に取り組んでいく。		

KPI	新組織が設置するウェブサイト年間アクセス数(PV)	担当課	地域産業推進課
評価	ホームページやSNS、ECサイトを通じて高い頻度で情報発信を行っており、多くのPVを獲得できている。		
R5年度以降の方向性	引き続き、積極的に情報発信を行う。		

令和4年度 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 事業検証シート

交付対象事業

農業×商工×観光連携によるたわらもとフード・ラボ事業

事業検証

事業内訳	当初計画事業費(円)	確定事業費(円)	交付金(円)
高収益作物転換奨励金	500,000	300,000	150,000
農地を活用した地域づくり支援事業	300,000	0	0
特産品等開発支援事業	1,500,000	0	0
たわらもとフード・ラボ事業	3,000,000	3,000,000	1,500,000
高収益作物転換農業用機械導入支援事業(ハード事業)	1,500,000	0	0
計	6,800,000	3,300,000	1,650,000

事業名	高収益作物転換奨励金		担当課	地域産業推進課
事業評価	進捗状況	水稲栽培から高収益作物栽培に転換した3名の農家に対して、奨励金を支給した。		
	事業効果	水稲栽培から高収益作物栽培への転換を促すことにより、農家所得の増加が見込まれる。		
R5年度以降の方向性	引き続き、水稲栽培から高収益作物栽培への転換を進め、農家所得の増加を図る。			

事業名	農地を活用した地域づくり支援事業		担当課	地域産業推進課
事業評価	進捗状況	町の農業及び農村地域の活性化を図るため、農業者と消費者との地域交流を促進する事業を実施するものに対して、その経費の一部を補助する目的で補助金を創設したが、申請者がいなかった。		
	事業効果	町の農業及び農村地域の活性化を図るためには、農業者と消費者との地域の交流を図ることが必要である。		
R5年度以降の方向性	引き続き、広く当該補助事業の周知に努める。			

事業名	特産品等開発支援事業		担当課	地域産業推進課
事業評価	進捗状況	補助制度を創設し、対象事業の募集を実施するとともに、生産者と飲食事業者のマッチングによる商品開発の支援を実施。		
	事業効果	補助金交付の実績は挙げられなかったが、次年度以降の商品開発の検討のきっかけを提供することができた。		
R5年度以降の方向性	補助制度の周知により、商品開発を促進していく。			
事業名	たわらもとフード・ラボ事業		担当課	地域産業推進課
事業評価	進捗状況	町内事業者、金融機関、商工会など多業種多分野の有志により、食を通じた町の活性化に取り組む団体を設立。12月に奈良で開催されたガストロノミーツーリズム世界フォーラムに出展し、町産ヒノヒカリとマルト醤油の生揚げ醤油を使ったみたらし団子などを提供。		
	事業効果	食に関する取り組みの機運醸成と、町の食文化を世界に向けてPRすることができた。		
R5年度以降の方向性	引継ぎ団体の活動を支援し、メニュー開発等に取り組んでいく。			
事業名	高収益作物転換農業用機械導入支援事業(ハード事業)		担当課	地域産業推進課
事業評価	進捗状況	高収益作物栽培への転換を図るため、農作業の省力化、農産物の高品質化等を図ることを目的とした農業用機械又は農業用装置の購入に要する費用を補助する補助制度を創設したが、申請者がいなかった。		
	事業効果	農作業の省力化、農産物の高品質化を図ることにより、農作業の効率化や農家所得の増加が見込まれる。		
R5年度以降の方向性	引き続き、広く当該補助事業の周知に努める。			

KPI検証

KPI		事業開始前	2022年度	2023年度	2024年度
高収益作物転換支援により 収益が増加した農業者数(人)	目標値	-	3	8	13
	実績値	0	3		
農地を活用した地域づくり交流事業への 参加人数(人)	目標値	-	30	80	140
	実績値	0	0		
特産品等開発支援件数(件)	目標値	-	3	6	9
	実績値	0	1		
たわらもとフード・ラボを通じた 生産者と料理人等のマッチングによる 新規商品(メニュー含む)開発件数(件)	目標値	-	3	9	21
	実績値	0	1		

KPI	高収益作物転換支援により収益が増加した農業者数(人)	担当課	地域産業推進課
評価	水稲栽培から高収益作物栽培への転換を図ることにより、農家所得の増加が見込まれる。		
R5年度 以降の 方向性	引き続き、水稲栽培から高収益作物栽培への転換を進める。		

KPI	農地を活用した地域づくり交流事業への参加人数(人)	担当課	地域産業推進課
評価	補助制度の申請がなかったため、未達となった。		
R5年度 以降の 方向性	広く補助制度の周知を図るとともに、交流事業に取り組むよう促していく。		

KPI	特産品等開発支援件数(件)	担当課	地域産業推進課
評価	補助制度の申請がなかったため、未達となった。		
R5年度 以降の 方向性	補助制度の周知により、商品開発を促進していく。		

KPI	たわらもとフード・ラボを通じた生産者と料理人等のマッ チングによる新規商品(メニュー含む)開発件数(件)	担当課	地域産業推進課
評価	ガストロノミー・ツーリズム世界フォーラムへの出展と、団体の設立に重点を置いたために未達となつた。		
R5年度 以降の 方向性	民間事業者を巻き込みながら商品開発に向けた取組を進めていく。		

令和4年度 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 事業検証シート

交付対象事業

**飛び地型自治体連携による若者から90歳代の後期高齢者の全てが
生きがいを持って過ごせるための健幸まちづくり事業**

事業検証

事業内訳	当初計画事業費(円)	確定事業費(円)	交付金(円)
社会参加型健幸ポイント事業	48,048,000	36,266,126	18,133,063
4市町連携交流サミット	550,000	550,000	275,000
事業評価	6,478,000	6,475,700	3,237,850
ハード事業※	755,000	342,100	171,050
計	55,831,000	43,633,926	21,816,963

※体組成計の購入

事業名	社会参加型健幸ポイント事業		担当課	長寿介護課
事業評価	進捗状況	1,830名の参加(20歳以上の町民) 80歳以上の参加者が全体の12.8% 健康アンバサダーの養成人数278名		
	事業効果	新規参加者平均歩数:5,178歩 → 6,335歩(新規参加者事業開始3か月後) 運動不十分層のうち推奨歩数達成もしくは1,500歩以上増加した者の割合:42.6%		
R5年度以降の方向性	イベント(バーチャルウォーキング・ノルディックウォーキング・ウォーキング講習会など)の実施や効果的な広報(広報紙・ホームページ・LINE・フェイスブックなど)を実施する。			

事業名	4市町連携交流サミット		担当課	長寿介護課
事業評価	進捗状況	令和4年10月10日(月・祝)に田原本青垣生涯学習センター弥生の里ホールで4市町連携交流サミット(「スポーツ×健幸」シンポジウム)を開催。		
	事業効果	スポーツと健康についての講演、連携各市町の取組紹介やパネルディスカッションを実施するとともに、各市町に会場を設け、田原本町での開催の様子を配信し、オンラインで各市町の参加者が交流し、連携を深めた。		
R5年度以降の方向性	令和5年度の4市町連携交流サミットは鳥取県湯梨浜町で開催。			

事業名	事業評価	担当課	長寿介護課
事業評価	進捗状況	事業評価・KPI総合達成度の評価・医療費・介護給付費抑制効果分析を実施。	
	事業効果	介護給付費抑制効果分析においては、本プロジェクトで掲げる5年目の医療費・介護給付費の抑制額に対して、2020年・2021年度の2年間の医療費・介護給付費の抑制効果を把握することを目的に、健幸ポイント参加者のレセプトデータ・介護データを分析した。	
R5年度以降の方向性	令和6年度にも介護給付費抑制効果分析を実施予定。		

KPI検証

KPI		事業開始前	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
医療費・介護給付費の抑制額(百万円)	目標値				700	950	1,180
	実績値				735		
健幸ポイント事業の参加者数(人)	目標値	-	5,500	7,810	9,980	12,180	14,270
	実績値	2,750	5,048	7,820	10,103		
80～90歳代の健幸ポイント事業の参加者数(人)	目標値	-	800	1,200	1,500	1,830	2,130
	実績値	300	633	910	1,279		
健幸ポイント事業での健幸アンバサダー等のボランティア活躍人数(人)	目標値		600	1,200	1,700	1,900	2,500
	実績値		1,062	1,479	2,031		

KPI	医療費・介護給付費の抑制額(百万円)	担当課	長寿介護課
評価	令和2年度から2年間継続参加している40歳以上の参加者261人と令和3年度から1年間継続参加している40歳以上の参加者441人を検証した結果、医療費と介護給付費の総額は非参加者と比較して2年間で約8,100万円の差があり、1人当たりでは約8.3万円低い(1人当たり年間平均)結果が得られた。		
R5年度以降の方向性	医療費・介護給付費の抑制額分析は次回令和6年度に実施予定。		

KPI	健幸ポイント事業の参加者数(人)	担当課	長寿介護課
評価	田原本町では、目標人数である1,830人に対し、1,836人と達成。(新規参加者の年度途中退会6人)		
R5年度以降の方向性	ポスター掲示・チラシ配布、広報紙やホームページなどの広報、LINEなどのSNSを活用した広報、町主催の各種教室やイベントなどでのアピールを行う。		

KPI	80～90歳代の健幸ポイント事業の参加者数(人)	担当課	長寿介護課
評価	田原本町では、目標値である15%(275人)に対し、12.8%(235人)と未達成。		
R5年度以降の方向性	引き続き、高齢者への周知を実施するとともに、80歳以上の方によく参加していただくため、80歳以上特別ポイントを継続。		

KPI	健幸ポイント事業での健幸アンバサダー等のボランティア活躍人数(人)	担当課	長寿介護課
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・田原本町におけるアンケート回答者720人のうち、345人(47.9%)が「参加している」と回答。 ・「参加している」と回答した参加者は4市町合計で2,031人。 		
R5年度以降の方向性	令和5年度においても同様の設問を設定し、人数を確認する。		